

当院職員の新型コロナウイルス感染症陽性者の発生について（第2報）

当院の職員が、2020年12月31日にTRC法検査※の結果、新型コロナウイルス感染症に感染していることが確認されました。

患者さんやご家族の方、地域の皆様にご心配をおかけし、深くお詫び申し上げます。

<当院の対応>

- ・ 渋川保健所に届け出たうえで、渋川保健所並びに群馬県と緊密な連携を取りながら感染拡大防止策を徹底してまいります。
- ・ 当該職員は、適切な隔離処置のもと、ホテル療養としております。
- ・ 院内必要個所の消毒を実施しました。
- ・ 濃厚接触の可能性がある職員および患者さんはPCR検査を実施し、すべて陰性であることを確認しました。
- ・ 診療体制は、当該病棟の新規受け入れを2021年1月14日まで中止とし、救急対応等は従前どおり（休日体制の現状のまま）とさせていただきます。

今後の経過と対応等につきましても、随時ホームページでお知らせいたしますので、ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

※TRC法：Transcription Reverse-transcription Concerted reaction

蛍光色素が標識されたDNAプローブと、一定温度RNA増幅法を組み合わせた、迅速かつ高感度にRNAをリアルタイムで増幅・検出・同定する遺伝子検査法です

2020年12月31日

独立行政法人国立病院機構
渋川医療センター院長 蒔田 富士雄